

2023 年行事予定

- 5月18日(木) 第92回教育セミナー
～30日(土) (オンデマンド配信)
 - 6月23日(金) 日本臨床検査専門医会第
～24日(土) 2回年次大会
 - 6月23日(金) 第2回理事会、生涯教育
講演会、2023年度定時社
員総会、第3回理事会
 - 7月3日(月) 第2回年次大会 WEB 開催
～17日(月) (オンデマンド配信)
7月頃 第4回理事会(委員会委員選任)
 - 7月27日(木) 第40回臨床検査振興セミ
～8月10日(木) ナー (オンデマンド配信)
 - 8月2日(水) 子ども霞が関見学デー
～3日(木)
 - 9月29日 第5回理事会
 - 11月11日(土) 臨床検査の日
 - 11月17日(金) 第70回日本臨床検査医
～19日(日) 学会学術集会(長崎)
 - 11月16日(木) 第6回理事会、2023年度
臨時社員総会・講演会・
共催セミナー
- 2024年
- 3月16日(土) 第7回理事会(ZOOM会議)

【目次】

| | |
|-----|---|
| p.1 | 巻頭言 |
| p.2 | 事務局からのお知らせ、2023年度日本臨床検査専門医会・行事予定・予算、2023年度定時社員総会報告 |
| p.3 | 第2回年次大会報告、第40回臨床検査振興セミナーのお知らせ、子ども霞が関見学デーの参加、第70回日本臨床検査医学会学術集会のお知らせ、2022年度会費振込のお願い、住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について |
| p.4 | 医学生・研修医のための臨床検査ハンズオンセミナー開催のお知らせ |
| p.5 | 会員の声 |
| p.6 | 会員の声、編集後記 |



りんしょう犬さんスタンプ
購入サイト

りんしょう犬さん LINE スタンプの検索方法
LINE→ウォレット→スタンプショップ

「りんしょう犬さん」を検索
検索結果→「クリエイターズ」を選択

<https://store.line.me/stickershop/product/8679516>

※ 収益が発生した場合は全て「臨床検査」の重要性を
社会に伝える活動に使用させていただきます

巻頭言

第63回日本臨床化学会学術集会長挨拶

慈恵大学理事・東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長
東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 教授
同大会長 吉田 博

我が国においては2020年から始まった新型コロナウイルス感染症は流行の波が幾度も繰り返し、2023年は始まりから第8波のなかにありましたが、人類はこれまでの歴史のなかで幾つもの困難を乗り越えて、経験・学び・知とともに努力を重ね現在に在ります。日本の感染症法上の位置付けにおいても、2023年5月8日から2類相当から5類へ移行し、社会の状況も本来の姿・活動に戻りつつあります。こうしたなか、様々な学術集会において現地開催の様式に戻った学会が少なくありません。やはり学会はin personで集い、語らうなかで得る様々なことが如何に大切であるかを、私自身あらためて認識している次第です。

この度、私は第63回日本臨床化学会年次学術集会の集会長を担当することになり、2023年10月27日(金)～29日(日)の3日間、東京都千代田区ソラシティカンファレンスセンターにおいて開催いたします。私が勤務する東京慈恵会医科大学が日本臨床化学会の学術集会を担当するのは歴史上初のことでございますので、身の引き締まる思いであります。

世界的・国家的課題である持続可能な開発目標・SDGsのなかで、目標3「すべての人に健康と福祉を」には、医学・医療の果たす役割が大きいことは論を俟ちません。折しも今年は、第31回日本医学会総会が「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」をメインテーマとして東京で開催され、ビッグデータに体现されるデジタル革命・技術革新がどのように医学・医療を変えていくかが注目されています。そのなかで基本となるのは、データを発信する臨床化学をはじめとした様々な臨床検査医学の成果の結実には他なりません。日本臨床化学会は広範な臨床化学研究分野から、実践的な標準法等の勧告、産学官連携も含めた新規検査法の開発や検査精度の維持・向上など、日本における臨床化学の学術と臨床検査現場の活動の発展のために欠かすことができない貢献を続けています。かかる意味から、今回の学術集会のテーマは「持続可能な医療の質を支える臨床化学の発展」としました。発見・発明そして社会実装など不断の努力の成果が、臨床化学および関連する周辺分野の世界のなかで展開しています。こうした確かな果実あるいは今後期待される成果を皆様と共有し、臨床化学の未来について共に語り合う場として第63回日本臨床化学会年次学術集会がお役に立てますよう努めてまいります。

特別講演としては、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構長の柳沢正史教授と国際医療福祉大学大学院長の矢富裕教授(元東京大学臨床病態検査医学分野教授)、ご高名なお方に臨床化学・社会実装などにも光をあてていただきご講演をお願いしております。その他にシンポジウム12個、教育講演4個などを含め学術プログラムを企画検討しております。

前回の東京開催である第60回日本臨床化学会はCOVID-19の影響でWeb開催様式でしたので、第63回は現地開催となれば第54回以来すなわち9年ぶりの東京開催となります。花の都東京にて、多くの学会員ならびに検査関連メーカーの方々をはじめ臨床化学に関連する多数の皆様のご参加をお待ちしております。ご高配のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【事務局からのお知らせ】

【会員動向】

2023年7月22日現在数635名、専門医528名

【新入会員】(敬称略)

井上 政弥：島根大学医学部附属病院輸血部
 安藤 南：順天堂大学医順天堂医院
 北村 瑛子：宮崎大学医学部附属病院
 朝井 章：大阪医科薬科大学病院中央検査部
 安武 豪：長崎大学病院検査部
 根木 翼：順天堂大学医学部附属順天堂医院
 大東(志谷)映璃：兵庫医科大学
 高橋 央：自衛隊入間病院保険部衛生課
 芳沢 杏美：順天堂大学医学部附属順天堂医院
 内山 裕子：札幌東徳洲会病院
 宮坂 政紀：東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座
 岩村菜々美：福井大学医学部附属病院
 田中 君枝：順天堂大学医学部附属病院臨床検査医学講座
 安戸 裕貴：杏林大学医学部臨床検査医学講座
 西村 基：千葉大学医学部附属病院
 水品 佳子：自治医科大学臨床検査医学
 野村 祐希：自治医科大学附属病院臨床検査科
 横森 良平：山梨大学医学部附属病院検査部
 加留部謙之輔：名古屋大学医学部附属病院
 高田 康徳：愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学
 小玉 美幸：関西医科大学附属病院臨床検査センター
 川村 良一：愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学
 渡邊 崇量：岐阜大学医学部附属病院検査部
 仁藤智香子：東京大学医学部附属病院検査部
 右田 王介：聖マリアンナ医科大学臨床検査医学
 坂本 央：旭川医科大学病院臨床検査・輸血部
 大島 恵：金沢大学附属病院
 奈良 佳治：市立四日市病院中央検査
 石田 景子：虎の門病院
 森本 麻衣：兵庫医科大学臨床検査医学
 笠松 悠：十三市民病院感染症内科

【新規賛助会員】(敬称略)

島津ダイアグノスティクス株式会社

【所属・その他変更】(敬称略)

大門 雅夫：旧 東京大学医学部附属病院検査部
 新 国際医療福祉大学三田病院循環器内科
 藤岡 和美：旧 医療法人社団幸会藤岡皮フ科クリニック
 新 日本大学医学部放射線医学系
 岩泉 守哉：旧 浜松医科大学臨床検査医学講座
 新 浜松医科大学医学部附属病院検査部/遺伝子診療部
 横崎 典哉：旧 広島大学病院検査部
 新 メディックス広島健診センター
 一山 智：旧 滋賀県立総合病院
 新 医療法人医仁会武田総合病院(病院長)
 小笠原洋治：旧 東京慈恵会科大学臨床検査医学講座
 新 東京慈恵会医科大学第三病院中央検査部
 坂本 輝彦：旧 東京女子医科大学東医療センター検査科
 新 高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科(教授)
 松尾 収二：旧 天理よろづ相談所病院臨床検査部長
 新 天理よろづ相談所病院臨床検査部非常勤講師
 中野 正祥：旧 兵庫医科大学臨床検査科(レジデントA)
 新 兵庫医科大学臨床検査医学講座(助教)

三好 夏希：旧 広島市立広島市民病院臨床検査部
 新 みよしクリニック
 通山 薫：旧 川崎医科大学・検査診断学
 新 川崎医療福祉大学医療技術学部臨床検査学科
 蒲地 綾子：旧 大分市医師会立アルメイダ病院病理部
 新 大分岡病院臨床検査部長
 江橋 正浩：旧 与那国診療所
 新 自治医科大学臨床検査部
 矢島 周平：旧 浜松医療センター臨床検査科
 新 医療法人社団和恵会みずほケアセンター
 矢富 裕：旧 東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学
 新 国際医療福祉大学(教授・大学院長)
 藤原 亨：旧 東北大学病院検査部
 新 岩手医科大学臨床検査医学講座(准教授)
 西野 貴大：旧 国立がん研究センター中央病院臨床検査科
 新 理化学研究所生命医学研究センターヒト免疫遺伝子研究チーム
 松井 啓隆：旧 熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学講座
 新 国立がん研究センター中央病院臨床検査科(科長)
 中尾 倫子：旧 東京大学医学部附属病院検査部
 新 東京大学保健・健康推進本部本郷地区
 西上 隆之：旧 兵庫県立はりま姫路総合医療センター
 新 尼崎中央病院病理診断科
 赤坂 和美：旧 旭川医科大学病院臨床検査・輸血部
 新 釧路孝仁記念病院循環器内科
 小笠原理恵：旧 岩手医科大学臨床検査医学講座
 新 中津川病院
 賀来 満夫：旧 東北大学医学部総合感染症学分野
 新 東北医科薬科大学医学部感染症学

【退会会員】(敬称略)

野内 英樹：複十字病院
 大崎 浩一：雪の聖母会聖マリア病院輸血科
 小田桐恵美：小田桐病院
 山上 松義：医療法人興生会相模台病院
 山田 恭暉
 清水辰一郎：船橋市立医療センター病理診断科
 矢内 充：社会医療法人社団尚篤会赤心堂総合健診クリニック

【2023年度日本臨床検査専門医会・行事予定・予算】

2023年度日本臨床検査専門医会、行事予定(表1)、予算(表2)について理事会より報告いたします。

【2023年度定時社員総会報告】

2023年度一般社団法人日本臨床検査専門医会定時社員総会は2023年6月23日(金)に東京都品川区昭和大学上條記念館にて開催されました。正会員数598名中現地参加57名事前の委任状提出が329名あり、定款上の規定を満たしたため、総会は成立し、下記審議事項の他、各委員会委員長からの前年度総括の活動報告がありました。詳細についてはホームページに掲載予定です。

主な審議事項として2022年度事業・決算(表3-1、2)承認、2023年度～24年度新役員候補承認がありました。各議案とも承認されました。総会終了後第3回理事会が開催され、その後新役員体制が発表されました。

2023-24年度年度常任理事

▽谷 直人(重任) 国際医療福祉大学熱海病院検査部 理事長
 山田 俊幸(重任) 自治医科大学臨床検査医学 副理事長

村上 正巳 群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学
庶務担当
増田亜希子(重任) 虎の門病院分院臨床検査部
会計担当
尾崎 敬(重任) 紀南病院中央臨床検査部
広報・ネットワーク運営委員会委員長
鯉淵 晴美 自治医科大学臨床検査医学
教育研修委員会委員長
幸村 近 北海道医療大学医療技術学部
渉外委員会委員長
田部 陽子(重任) 順天堂大学大学院医学研究科
資格審査・規定改定委員会委員長
福地 邦彦(重任) 昭和医療技術専門学校
情報出版委員会委員長
松下 一之(重任) 千葉大学医学部附属病院検査部
保険点数・データシステム委員会委員長

2023-24 年度理事

浅井 さとみ(重任) 東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学
植木 重治(重任) 秋田大学大学院医学系研究科総合診療・
検査診断学講座
北中 明(重任) 川崎医科大学検査診断学(病態解析)
橋口 照人(重任) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管
代謝病態解析学分野
藤井 聡(重任) 北海道大学病院検査・輸血部
山崎 正晴 奈良県立医科大学附属病院中央臨床検査部
山田 鉄也(重任) 社会医療法人厚生会中部国際医療センター

2023-24 年度監事

菊池 春人 済生会横浜市東部病院臨床検査科 2023-2026 年度
東條 尚子 三楽病院検査科 2021-2024 年度

【第 2 回年次大会報告】

第 2 回年次大会(木村聡会長・昭和大学横浜市北部病院)は、6 月 23 日(金)～24 日(土)に東京都品川区上條記念館にて会場開催、7 月 3 日(月)～17 日(月)にオンデマンド配信のハイブリッド形式で開催されました。1 日目の生涯教育講演会に続き、2 日目は「Catch up! 遺伝子検査」をメインテーマに遺伝子学の初歩から現状までを学べるような講演で構成、ゲノム医療推進法の成立ともタイムリーな内容の講演会となりました。会員、非会員、賛助・協賛会社社員の方など、現地・オンデマンド配信合わせて 250 名を超える参加者があり、本セミナーを機に入会された医師も複数おられました。参加者からは「非常に充実した内容だった」との声が複数寄せられています。数年ぶりに、懇親会も開催され、情報交換も含め充実した 2 日間となりました。ご協力いただいたすべての先生方に心より御礼申し上げます。



2024 年度第 3 回年次大会(尾崎敬会長・紀南病院)は、2024 年 6 月 29 日(土)～30 日(日)に和歌山県の紀南病院で

開催予定です。「臨床検査・研究・そしてワークライフバランス」をテーマに掲げ、準備を進めています。

【第 40 回臨床検査振興セミナーのお知らせ】

第 40 回臨床検査振興セミナーは、以下の日程で開催予定です。配信開始後も、8 月 3 日まで参加受付をしております。視聴にはメールアドレスとパスワードの登録が必要です。ホームページに掲載されている参加申込フォームから登録の上、ご視聴ください。

開催形態：オンデマンド配信

配信開始：2023 年 7 月 27 日(木)10:00

配信終了：2023 年 8 月 10 日(木)23:59

受付終了：2023 年 8 月 3 日(木)23:59

内 容：講演 1 ISO 15189 の動向と今後の展開
(専門医機構臨床検査領域講習会)

講 師：積水メディカル株式会社 検査事業部 営業推進室
LCG マネージャー

人見 博也

講演 2 人由来試料の利用—英国の経験からいえること
(専門医機構共通講習会：医療倫理)

(日本臨床検査医学会 日本臨床検査専門医会 共催)

講 師：東京学芸大学 准教授 日本臨床検査医学会倫理
委員会外部委員
佐藤 雄一郎

【こども霞が関見学デーの参加】

厚生省が 4 年ぶりに会場開催をする「こども霞が関見学デー」に、本会は広報・ネットワーク委員会イベント部門が中心となり協力します。「うんちやおしっこ・血液を検査すると何がわかるかな? ～白衣を着て臨床検査を体験しよう!! ～」というテーマで、臨床検査の紹介をし、体験してもらうイベントです。開催日は 8 月 2 日、3 日、対象者は未就学児～高校生までです。詳細は厚生労働省のホームページに掲載されています。

【第 70 回日本臨床検査医学会学術集会のお知らせ】

会 期：2023 年 11 月 16 日(木)～19 日(日)

会 場：出島メッセ長崎

大 会 長：柳原 克紀(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
病態解析・診断学分野)

副大会長：長谷川寛雄(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
病態解析・診断学分野)

テ ー マ：未来を見据えた臨床検査

詳細は日本臨床検査医学会ホームページをご確認ください。

<https://www.c-linkage.co.jp/jslm70/>

【2022 年度会費振込のお願い】

本年 4 月に年会費振込用紙をお送りいたしました。未納の方は納入くださいますようお願いいたします。

2023 年度年会費(会計年度：2023 年 4 月～2024 年 3 月)：
10,000 円 (2023 年 4 月 1 日現在、70 歳以上の方は 5,000 円)

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキキウ店)

預金種目：当座 口座番号：0020509

口座名：一般社団法人 日本臨床検査専門医会

【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】

住所・所属の変更ともなって定期刊行物、JACLaP WIRE、電子メールなどの連絡が届かなくなる会員がいます。

勤務先、住所および E-mail address 等の変更がありましたら必ず事務局までお知らせ下さい。変更事項はホームページから『会員情報変更届』をダウンロードして記載後、FAX あるいは E-mail でお送りください。

なお、本会では、JACLaPWIRE の配信を含め、セミナー開催情報等会員様への有用なお知らせを、必要に応じメール配信しております。E-mail address のご登録がお済みでない先生は、同様に事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。

<連絡先>

日本臨床検査専門医会 事務局(水・土日祝祭日は休業日)

電話：03-3864-0804 FAX：03-5823-4110

旧)メールアドレス：senmon-i@jacpl.org

新)メールアドレス：senmon-i@jaclap.org

* 事務局メールアドレスのドメインが変更になりました。

前アドレスでご登録をいただいている先生がいらっしゃいましたらご変更をお願いいたします。

【医学生・研修医のための臨床検査ハンズオンセミナー開催のお知らせ】

2018 年度から開始された新専門医制度では、臨床検査は基本領域の一つとなっていますが、臨床検査(専門)医の業務は、多くの学生・医師にとって、未だになじみの薄いものかもしれません。日本臨床検査医学会では、医学生や研修医に臨床検査(専門)医の業務内容やキャリアパスを知っていただき、臨床検査の楽しさに触れて頂くとともに臨床検査専門医を目指して頂く機会として、2017 年から医学生・研修医のための臨床検査ハンズオンセミナーを開催しています。例年、多くの医学生、研修医にご参加頂き、実際に臨床検査専門研修を開始された参加者もおられます。今年も日本臨床検査医学会近畿支部と合同で、体験型の web セミナーを開催いたします。

多くの臨床検査専門医に触れる大変貴重な機会ですので、臨床検査に興味のある医学生・研修医へのお声かけをお願いできればと存じます。また、会員の皆様にはセミナーの様子をご視聴いただくことも可能です。視聴受付フォーム URL は日本臨床検査医学会ホームページに後日掲載予定です。

第 7 回 医学生・研修医のための臨床検査

ハンズオンセミナー開催概要

主催：日本臨床検査医学会 ワークライフバランス委員会、近畿支部

共催：日本臨床検査医学会 教育委員会、日本臨床検査専門医会 教育研修委員会
日本医師会女性医師支援センター

日時：2023 年 9 月 10 日(日)13 時～17 時半

開催形式：Web セミナー

受講料：無料

対象・定員：医学生(5.6 年生)、初期臨床研修医 定員 28 名、(転科や臨床検査専門医取得を検討中の若手医師、医学 4 年生の参加も歓迎します)

参加受付期間：2023 年 8 月 31 日まで
(先着順、定員になり次第締め切り)

参加受付フォーム URL：<https://forms.gle/yFWvND1JCE3aYqgX7>

プログラム：

13：00～13：05 開会の言葉
13：05～13：25 <講演 1> 臨床検査専門医のキャリアパス・大学病院の専門医業務紹介

講師：大阪公立大学 中前 美佳
13：25～13：35 <講演 2> 市中病院の専門医業務紹介
講師：福山市民病院 眞鍋 明広
13：35～14：45 腹部・心臓超音波検査入門
～描いてみて、当てて納得する腹部の解剖・一度見ておきたい心臓超音波所見～
講師：自治医科大学 鯉淵 晴美、釧路孝仁会記念病院 赤坂 和美、富山大学 原田 健右、川崎医科大学 多田 大和
腹部臓器の絵を描いてみて(お手元に紙と筆記用具をご用意ください)、それを超音波で構造を確認しながら腹部超音波解剖の基礎を学びます。
また、一度見ておきたい代表的な心臓超音波所見について学びます。
14：50～16：50 RCPC
講師：信州大学 松本 剛
複数の検査結果の組み合わせとその変動から、病態を読み解くプロセスを学びます。少人数グループディスカッションを行います。
16：50～16：55 閉会の言葉
16：55～17：30 臨床検査専門研修、臨床検査専門医についての質疑応答(参加自由)
参加者からの質問に、臨床検査専門医が生の声でお答えします。
(東京大学医学部附属病院検査部 西川 真子)

表 1 2023 年度行事予定

| 日 | 時 | 内 容 | 開催場所 |
|------------|------------|--|-------------|
| 5 月 18 日 | ～ 30 日 | 第 92 回教育セミナー | オンデマンド配信 |
| 5 月 27 日 | | 第 1 回理事会：決算 | ZOOM 会議 |
| 6 月 23 日 | ～ 24 日 | 第 2 回年次大会 | 昭和大学上條記念館 |
| | | 第 2 回理事会(旧理事) 定時社員総会：決算承認・理事の選任 第 3 回理事会(新理事長・役員選任) 生涯教育講演会 | |
| 7 月 3 日 | ～ 17 日 | 第 2 回年次大会 WEB 開催 | オンデマンド配信 |
| 7 月 | | 第 4 回理事会(委員会委員選任) | メール審議 |
| 7 月 27 日 | ～ 8 月 10 日 | 第 40 回振興セミナー | オンデマンド配信 |
| 8 月 2 日 | ～ 3 日 | こども霞が関見学デー | |
| 9 月 29 日 | | 第 5 回理事会 | ZOOM 会議 |
| 11 月 11 日 | | 臨床検査の日 | |
| 11 月～ 12 月 | | 全国検査と健康展 | 日本臨床検査技師会共催 |
| 11 月 17 日 | ～ 19 日 | 第 70 回日本臨床検査医学会 学術集会 | 長崎 |
| 11 月 16 日 | | 第 6 回理事会 臨時社員総会・講演会 共催セミナー | |
| 2024 年 | | | |
| 3 月 16 日 | | 第 7 回理事会 | ZOOM 会議 |

表2 2023年度 予算
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

| | | (単位:円) | | |
|-----------------|------------|------------|-----------|-----------|
| | | 2023年度予算額 | 2022年度予算額 | 増減 |
| 収入欄 | 会費 | | | |
| | 会費 | 5,400,000 | 5,455,000 | ▲ 55,000 |
| | 賛助会費・寄付金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| | 小計 | 8,400,000 | 8,455,000 | ▲ 55,000 |
| | その他収入 | | | |
| | 広告収入 | 240,000 | 440,000 | ▲ 200,000 |
| | 教育セミナー参加費 | 400,000 | 280,000 | 120,000 |
| | 生涯教育講演会参加費 | 280,000 | 0 | 280,000 |
| | 振興セミナー参加費 | 0 | 0 | 0 |
| | 年次大会収入 | 2,000,000 | 2,050,000 | ▲ 50,000 |
| 利息 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 雑収入 | 11,000 | 0 | 11,000 | |
| 小計 | 2,932,000 | 2,771,000 | 161,000 | |
| 入金合計 | 11,332,000 | 11,226,000 | 106,000 | |
| 支出欄 | 業務経費 | | | |
| | 事務所維持費 | 1,832,000 | 1,738,000 | 94,000 |
| | 人件費 | 2,100,000 | 2,100,000 | 0 |
| | 設備費 | 8,000 | 10,000 | ▲ 2,000 |
| | 電話・FAX使用料 | 54,000 | 60,000 | ▲ 6,000 |
| | 通信費(事務局) | 200,000 | 210,000 | ▲ 10,000 |
| | 顧問料 | 385,000 | 462,000 | ▲ 77,000 |
| | 事務局雑費 | 82,000 | 135,000 | ▲ 53,000 |
| | 小計 | 4,661,000 | 4,715,000 | ▲ 54,000 |
| | 事業経費 | | | |
| 印刷代 | 830,000 | 600,000 | 230,000 | |
| 要覧印刷代 | 0 | 500,000 | ▲ 500,000 | |
| 通信費 | 720,000 | 400,000 | 320,000 | |
| 年次大会費 | 2,500,000 | 2,550,000 | ▲ 50,000 | |
| 臨床検査振興セミナー費 | 300,000 | 424,000 | ▲ 124,000 | |
| 教育研修事業費 | 350,000 | 390,000 | ▲ 40,000 | |
| 会議費 | 610,000 | 200,000 | 410,000 | |
| 交通費 | 80,000 | 80,000 | 0 | |
| 宿泊費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 原稿料 | 0 | 0 | 0 | |
| 専門医会ネットワーク維持費 | 0 | 220,000 | ▲ 220,000 | |
| HP維持費 | 396,000 | 330,000 | 66,000 | |
| 会員管理委託費 | 121,000 | 132,000 | ▲ 11,000 | |
| 広報ネットワーク委員会関連費用 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| JCCLS会費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| WASPALM会費 | 64,000 | 55,000 | 9,000 | |
| 臨床検査振興協議会 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 内保連 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | 6,601,000 | 6,511,000 | 90,000 | |
| 法人税等 | 70,000 | 0 | 70,000 | |
| 出金合計 | 11,332,000 | 11,226,000 | 106,000 | |
| 収支 | 0 | 0 | 0 | |

【会員の声：次世代の臨床検査専門医】

臨床検査専門医を目指して

愛媛大学医学部附属病院検査部(糖尿病内科・臨床検査医学)
高門美沙季

2022年度に臨床検査専門医会に新規入会させていただきました。愛媛大学検査部(糖尿病内科・臨床検査医学)の高門美沙季です。

私は、2014年に愛媛大学を卒業し、2年間の初期研修を経て、愛媛大学糖尿病内科・臨床検査医学教室に入局しました。後期研修を経て、2017年に認定内科医、2020年に糖尿病専門医の資格を取得しました。大学院では、糖尿病の早期診断に有用な検査マーカーに関する研究を行い、学位を取得しました。この研究をきっかけに、臨床検査への興味が深まり、2019年に臨床検査管理医講習を受講し、臨床検査管理医を取得しました。

学生時代から、早期診断・発症予防を目指す予防医学に興味があり、これまで、一般住民約2500名を対象にした疫学研究である「東温スタディ」を中心に、糖尿病発症前診断や新規検査法などの研究に携わってきました。住民健診の現場では、頸動脈エコー検査を担当し、健診後はデータベース作成や解析を行い、学会発表や論文作成に励んでいます。

現在、愛媛大学医学部附属病院で糖尿病専門外来・病棟業務・研究・学生教育を行う傍ら、カリキュラム制で臨床検査

表3-1 2022年度 正味財産増減計算書
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

| | | (単位:円) | | |
|-----------------|------------|-------------|-------------|-----------|
| | | 2022年度予算 | 2022年度決算 | 予算と決算の差 |
| 収入欄 | 会費等 | | | |
| | 会費 | 5,455,000 | 5,050,000 | △ 405,000 |
| | 賛助会費・寄付金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| | 小計 | 8,455,000 | 8,050,000 | △ 405,000 |
| | その他 | | | |
| | 広告収入 | 440,000 | 510,000 | 70,000 |
| | 教育セミナー参加費 | 280,000 | 392,000 | 112,000 |
| | 生涯教育講演会参加費 | 0 | 446,000 | 446,000 |
| | 年次大会収入 | 2,050,000 | 2,489,000 | 439,000 |
| | 利息 | 1,000 | 229 | △ 771 |
| 雑収入 | 0 | 11,415 | 11,415 | |
| 小計 | 2,771,000 | 3,848,644 | 1,077,644 | |
| 収入合計 | 11,226,000 | 11,898,644 | 672,644 | |
| 支出欄 | 業務経費 | | | |
| | 事務所維持費 | 1,738,000 | 1,852,716 | 114,716 |
| | 人件費 | 2,100,000 | 2,875,756 | 775,756 |
| | 設備費 | 10,000 | 6,200 | △ 3,800 |
| | 電話・FAX使用料 | 60,000 | 66,360 | 6,360 |
| | 通信費(事務局) | 210,000 | 98,143 | △ 111,857 |
| | 顧問料 | 462,000 | 385,000 | △ 77,000 |
| | 事務局雑費 | 135,000 | 70,522 | △ 64,478 |
| | 小計 | 4,715,000 | 5,354,697 | 639,697 |
| | 事業経費 | | | |
| 印刷代 | 600,000 | 1,198,450 | 598,450 | |
| 要覧印刷代 | 500,000 | 660,984 | 160,984 | |
| 通信費 | 400,000 | 865,368 | 465,368 | |
| 年次大会費 | 2,550,000 | 2,984,011 | 434,011 | |
| 臨床検査振興セミナー費 | 424,000 | 326,715 | △ 97,285 | |
| 教育研修事業費 | 390,000 | 485,039 | 95,039 | |
| 会議費 | 200,000 | 178,511 | △ 21,489 | |
| 交通費 | 80,000 | 79,696 | △ 304 | |
| 宿泊費 | 30,000 | 0 | △ 30,000 | |
| 専門医ネットワーク維持費 | 220,000 | 220,000 | 0 | |
| HP維持費 | 330,000 | 330,000 | 0 | |
| 会員管理委託費 | 132,000 | 132,000 | 0 | |
| 広報ネットワーク委員会関連費用 | 50,000 | 43,923 | △ 6,077 | |
| JCCLS会費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| WASPALM会費 | 55,000 | 63,988 | 8,988 | |
| 臨床検査振興協議会 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 内保連 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 102,000 | 102,000 | |
| 小計 | 6,511,000 | 8,220,685 | 1,709,685 | |
| 法人税等 | 0 | 70,000 | 70,000 | |
| 支出合計 | 11,226,000 | 13,645,382 | 2,419,382 | |
| 当期経常増減額(収入-支出) | 0 | △ 1,746,738 | △ 1,746,738 | |
| 当期正味財産増減額 | 0 | △ 1,746,738 | △ 1,746,738 | |
| 正味財産期首残高 | 30,026,930 | 30,026,930 | 0 | |
| 正味財産期末残高 | 30,026,930 | 28,280,192 | △ 1,746,738 | |

表3-2 貸借対照表(2023年3月31日現在)

| (単位:円) | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 30,932,776 | 34,428,391 | △ 3,495,615 |
| 未収金 | 428,289 | 0 | 428,289 |
| 前払金 | 176,330 | 144,380 | 31,950 |
| 流動資産合計 | 31,537,395 | 34,572,771 | △ 3,035,376 |
| 資産合計 | 31,537,395 | 34,572,771 | △ 3,035,376 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 1,828,038 | 210,472 | 1,617,566 |
| 前受金 | 1,105,000 | 925,000 | 180,000 |
| 前受会費 | 235,000 | 3,350,000 | △ 3,115,000 |
| 預り金 | 19,165 | 42,869 | △ 23,704 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 17,500 | 52,500 |
| 流動負債合計 | 3,257,203 | 4,545,841 | △ 1,288,638 |
| 負債合計 | 3,257,203 | 4,545,841 | △ 1,288,638 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | 28,280,192 | 30,026,930 | △ 1,746,738 |
| 正味財産合計 | 28,280,192 | 30,026,930 | △ 1,746,738 |
| 負債及び正味財産合計 | 31,537,395 | 34,572,771 | △ 3,035,376 |

の専門研修を行っています。当院の臨床検査技師の方々にお世話になりながら、血液標本の見方や、輸血検査、細菌検査、生理検査のポイント、精度管理などを、日々学んでいます。普段は糖尿病の診療が中心のため、様々な分野の基礎知識の獲得から、最新知見のアップデートまで、覚えることがとても多く、圧倒されています。

今後、臨床検査専門医試験を受験するにあたり、膨大な範囲をどのように勉強すればよいか、何から手を付ければよいか、漠然とした不安があり、2022年度の教育セミナーを受講しました。教育セミナーの先生方のレクチャーは非常に実践的で勉強になり、膨大な範囲を勉強する手がかりとなりました。このレクチャーで学んだことをもとに、さらに知識を深

めていきたいと思ひます。また、ホームページの「私たちは臨床検査専門医」という記事はとても魅力的で、モチベーションの維持につながっています。私の身近には臨床検査専門医が少ないため、実際に現場で活躍されている臨床検査専門医の先生方のお話が聞けるのは、とても励みになります。

臨床検査専門医試験を受験し、今後の臨床検査の発展に少しでも貢献できるよう、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

次世代の臨床検査専門医を目指して

自治医科大学附属さいたま医療センター臨床検査部
渡辺 珠美

日本臨床検査医会の皆様。私は、自治医科大学附属さいたま医療センター臨床検査部の渡辺と申します。臨床検査部の所属となって2年目になります。臨床検査部の医師が急遽ご退職となったことや縁があつて臨床検査管理医の資格を持っていたこととお声掛けがありました。それまで、総合診療科に所属し、内科医として病棟、外来に従事していたため、臨床検査という全く異なる分野に足を踏み入れることに始めは躊躇もありました。しかし、臨床医をしていく上で検査の内容や方法、読み方を習得することで、自分自身の臨床の幅が広がる機会になると考え、研修医に戻ったつもりで一から学ぶ志でこの分野へ進むことを決めました。臨床検査専門医のプログラムに沿つての実習期間はこれからですが、すでに自治医科大学附属病院臨床検査医学の山田俊幸教授や鯉淵晴美先生、自治医科大学附属さいたま医療センター臨床検査部の尾本きよか教授のご指導の下、「勉強」という意味も含めて今年度から臨床検査実習に参加させていただいております。学生のときに実習で勉強して以来のこととなりますが、実臨床を経験してからの実習は非常に興味深く、今まで結果を見ることが中心であった検査の過程の部分を知つて、さらに検査への理解が深まったと感じています。もともと総合診療科に所属していたこともあり、さまざまな疾患を目にすることが多かったのですが、そこに係る検査の知識は何となくしかなかったものが多く、それを知ることで病態のことをさらに理解することができるのではないかと感じています。このような機会がなければ検査について、ここまで深く学ぶこともなかったと思ひます。

【会員の声】を拝見したところ、多くの先生方が臨床検査専門医を取得されたのち執筆されおりますが、私はようやく今年度から実習が少しずつ開始となったような状態で、今後、臨床検査専門医を目指して研修を行つていく立場であり、レポート作成や試験において、今からわからないことが多く、周りの先生方に少しずつ情報を得ながら準備をしようかというところではあります。周囲からの情報だと、他の専門医よりも範囲

が広く、実技試験もあり取得が困難と聞き、今から不安でいっぱいではあります。しかし、周囲に協力いただける環境、先生方がおられるので、何とか乗り切つていければと思ひています。

私は、今までの内科診療で診てきた疾患の関係もあり、個人的に感染症と超音波検査に興味があり、これらの習得に力を入れるとともに、他の検査項目においても今後臨床検査専門医として活動できるよう、満遍なく自分のものとして習得することが目標です。ただ専門医となれば、それなりの責任も出てくるため、まだ専門医を取得する前ではありますが、身の引き締まる思いでもあります。また、現在5人の子供の子育て中ということもあり、育児の面からも自分の仕事環境にうまく組み込めていければと考えています。まだ具体的なことは決まっていますが、できれば臨床診療も続けたいと考えており、臨床医と検査医を両立して活動して行くことが目標です。

研修中におきましても、今後専門医を取得(できたとしたら)した後も専門医会の先生方をはじめ、今後係る先生方にこれからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げる次第です。

【編集後記】

まず、今号は予想外に新入会員と所属・その他変更の人数が多いことに伴い、入稿いただいていた「臨床検査医学への提言」は次号に掲載することをお詫びさせていただきます。また、多くの原稿を入稿いただいておりますが、なかなか掲載できずに誠に申し訳ありません。予算の関係上、紙面を年3号の紙面6ページで運営しています。次号以降を楽しみにお待ちしております。

先日木村聡先生が大会長を務められた日本臨床検査専門医会 第2回年次大会は盛会で活発な討論が行われました。年次大会でFace to Faceで議論することの重要性を改めて認識いたしました。臨床検査医の最も大きな問題点として、学会・専門医としての認知度が低いということが大きな問題であると思ひます。徐々に臨床検査医学の医学部の講座が減少して、病院・検査部の管理者という位置づけに変化していくと、自然と医学生臨床検査離れが進むと考えられます。逆に日本病理学会は、「病理医・研究医の育成とリクルート委員会」などを中心にレジナビに長らく出展して、医学生・初期研修医への病理の普及に努めているようです。臨床検査医もSNSやレジナビなどに参戦して臨床検査の認知度を高める工夫が必要な時期に来ているのかもしれない。

私自身は、JACLaP NEWSの編集主幹をもう二年務めさせていただきます。新たな人にバトンタッチしたいと考えています。ぜひ次の編集主幹をやりたいという先生がいましたら、ご連絡いただけると幸いです。

(東海大学医学部臨床検査学 後藤 和人)

一般社団法人 日本臨床検査専門医会

理事長：谷直人、副理事長：山田俊幸

常任理事：村上正巳(庶務)、増田亜希子(会計)、田部陽子(資格審査・規定改定委員会委員長)、幸村 近(渉外委員会委員長)、

福地邦彦(情報・出版委員会委員長)、松下一之(保険点数・データシステム委員会委員長)、尾崎 敬(広報・ネットワーク運営委員会委員長)、

鯉淵晴美(教育研修委員会委員長)

理事：藤井 聡、植木重治、浅井さとみ、山田鉄也、山崎正晴、北中 明、橋口照人

監事：東條尚子、菊池春人

情報・出版委員会：

委員長：福地邦彦

委員：出居真由美、井上暢子、後藤和人、吉田 博、金子 誠

一般社団法人 日本臨床検査専門医会事務局

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番地 第3東ビル908号

TEL：03-3864-0804 FAX：03-5823-4110 E-mail：senmon-i@jaclap.org